

## 市民が主役の文化祭、力作ずらり

展示部門、短歌・俳句部門で計約300点



8月29日～9月6日、市民総合文化祭が総合文化芸術センター本館で開かれました。市民の文化作品や舞台芸術を披露する文化祭として毎年開催。今年は舞台部門のステージ発表のほか、応募のあった絵画や書道・写真110点、短歌・俳句は202点が展示され、ステージ発表の合間に鑑賞する人の姿も。書道歴50年の重里道夫さん(78歳、**右写真**)は自身の作品を前に「この文化祭と12月の市展への出品という目標が励みになるし楽しいですね」と話していました。

## まろちの話題

話題のコースやイベントなどを紹介！

## 元気な声が校舎を包む初登校

禁野小学校 新校舎で新学期スタート



8月25日から市立小学校の2学期が始まり、禁野小学校では新校舎に初めて子どもたちが登校しました。始業式での全学年による校歌の合唱とともに新しい学校生活が元気よくスタート。休み時間のチャイムが鳴ると新校舎の探索を待ち望んでいた子どもたちの声が学校中を包みました。枚方の街並みや淀川を望める屋外デッキ・天の川テラス(**右写真**)では「私の家が見える!」と指さす姿や「テラスが一番楽しかった!」と話す子どもたちの笑顔が広がりました。



▲幼稚園の頃ひらかたパークで母と兄(**写真上**)と。



▲樟葉南小学校の入学式で父と。



▲中学生の頃ひらかたパークで母と。

## 今でも枚方は身近な存在

枚方には幼稚園から高校卒業まで住んでいました。牧野松園ボウルや御殿山バッキングセンターなど、思い出の場所はたくさんありますが、中でも一番はやっぱり「ひらパー」です。小さい頃からよく連れて行ってもらい、夏はプール、冬はスケートと、一年を通して楽しんでいました。現在は滋賀県に住んでいますが、こちらでも「ひらパー」の名前が浸透しているのは、枚方出身者としてうれしいですね。今でも車で1時間ほどなので、子どもを連れて遊びに行くことがあります。自分が子どもの頃に楽しんだ場所を、今度は自分の子どもと一緒に訪れ、当時の思い出に浸る。そんな時間を過ごせるのも、枚方がいまも身近な存在だからだと思います。

## 枚方 思い出の1コマ

ひらかたかぞく

枚方ゆかりの  
著名人の皆さんが  
秘蔵の写真とともに  
思い出を語ります。

第84回

つじの  
辻野

やすゆき  
泰之さん



日本中央競馬会(JRA)調教師。昭和56年生まれ、枚方市出身。平成18年から栗東トレーニングセンターで厩務員、調教助手として経験を積み、角居厩舎所属時には、ダービー馬ウオッカなどの育成に携わる。令和2年にJRA調教師免許を取得し、翌年3月に厩舎を開業。主な管理馬にマスクトディーヴァ、ロータスランドなど。令和8年8月末時点でJRA通算131勝、重賞9勝。

## 編集後記

「家庭を必要としている子が、本当にたくさんいるんですー」。取材にご協力いただいた2組の里親さんや支援セン

ターの皆さんがそう話されていたことが心に残っています。大人が子どもにできることをこれからも考えていきたいです。



編集者 M